

Rotary Club of AMA weekly report.



2019~2020 年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーは 世界をつなぐ

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル
TEL (052) 451-6617 FAX (052) 451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2019-2020年度
R1 会長 マーク・ダニエル・マローニー
第2760地区ガバナー 伊藤 靖祐

会長 田中正博
副会長 鈴木與左衛門
幹事 藤田 隆志

例会日 毎週月曜
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】

委員長 神戸 剛
後藤裕一・熊沢 登・武藤正俊

2019年10月 7日(晴れ) 第1週 第2285回例会

Song "君が代・奉仕の理想"

Guest 米山奨学生 馮 軒昂君

Attendance

会員	78名	欠席	13名	出席率	79.37%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time

田中正博会長



皆様、こんにちは。今日は大変嬉しいことに、あまRCに新しい仲間、新会員が入会していただきました。寺澤正樹君、41歳でスポーツマンで性格明るい好青年でございます。あまRCに早く馴染んでいただき、委員会で活躍していただけますようお願いいたします。今年度は8月の初例会に3名、10月も初例会に1名と計4名入会していただきました。いまのところ順調に推移しておりますが、これからも増強には力を入れていきましょう、よろしく申し上げます。

先日の土曜日に大竹初代会長の偲ぶ会が行われました。出席していただきました皆様、お疲れ様でございました。西川君にご無理を言って、素晴らしいDVDを製作していただきました。「川の流れるように」のバックミュージックに乗って映像が流れ、皆さん見入っておられました。皆さん

から懐かしい思い出話、恩に対する感謝のお話、爆笑するような失言話、湿っぽくなく楽しい偲ぶ会でございました。例会でお見受けしない大ベテランの会員の方も3~4人ご出席いただき、大竹初代会長も喜んでおられたと思います。有難うございました。

さて、今日は黒川青少奉仕委員長の担当でございます。ボーイスカウトあま第1回団委員長の佐藤益美様、近藤純子様をお迎えしています。ようこそお越しいただきました。先日ボーイ、ガールスカウトのあま第1回・第2回・第3回、大治第1回の役員の皆様へ、助成金の贈呈にあまRCから9名出席させていただきました。そして懇親会にも参加させていただきました。そして懇親会にも参加させていただきました。ボーイスカウトの活動報告、活動の目的などを説明いただき、勉強になりました。後程、いろいろボーイスカウト・ガールスカウトの活動のお話をいただけたと思いますが、先日参加させていただいた時に、私も少しボーイスカウトの活動目標を少し調べて参加させていただきました。ロータリーの活動と同様素晴らしい活動です。「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の発展の先頭に立とうとする少年(先駆者になる人)に育成すること」を目標としておられるそうです。訓練など実践としては「ア

Today 10月12日(第2286回)

担当 田中正博 会長

演題 ワールドフード+ふれ愛フェスタ
於：久屋大通公園 12:00点鐘

Next Week 10月19日(第2287回)

担当 板津和博 親睦活動委員長

演題 秋の家族会 歌舞伎鑑賞
於：御園座 (10/21例会振替)

新 会 員 紹 介

ウトドアを中心に行動し、自然を学び、友情や協調の精神を育てる活動を行うことである」、少年の指導にはアウトドア活動が大事だそうです。本日は卓話よろしくお願ひします。

今日は10月7日、「バーコードの日」。過去の10月7日の出来事に珍しいものがないか探していましたが、バーコードの特許が認可された日を見つけました。1952年（昭和27年）10月7日世界で初めてバーコードの特許が認可されました。発明したのは1949年（昭和24年）にアメリカのドレクセン大学院生であった、バーナード・シルバーとノーマン・ジョセフ・ウッドランドがバーコードを発明し1952年10月7日に特許を取得しました。1967年、アメリカの食品チェーン店が、レジスターの行列を解消させる方策として、始めて実用化されました。今ではバーコード、QRコードはあたりまえのように使われています。この開発のお陰で、最近の国を挙げてのキャッシュレス政策、人件費節減に向かったの研究開発につながっていていると思います。日本では1978年にEANに加盟して、EANの統一商品コードを採用することになりました。現在はJANコードと呼び使用されています。以上会長挨拶でございます。

Secretary Report

藤田隆志 幹事

- 1 次回例会は10月12日（土）ワールドフード+ふれ愛フェスタです。集合場所はエディオン久屋広場（松阪屋南館前）、点鐘は12:00です。あまRCのジャンパーと帽子を忘れずお持ち下さい。
- 2 10月14日（月）は体育の日による休会です。
- 3 10月19日は秋の家族会です。10月21日（月）の例会振替となります。
- 4 ロータリーレートが10月1日より1ドル108円に変更となりました。
- 5 浅野多喜男君に第31回米山功労者感謝状が参りました。
- 6 鈴木和彦君に第22回米山功労者感謝状が参りました。
- 7 藤田隆志君に第1回米山功労者感謝状が参りました。



氏 名	寺澤 正樹 <small>てらざわ まさき</small>	
生 年 月 日	昭和53年4月3日	
事 業 所 名	プルデンシャル生命保険（株） 名古屋北支社 部長	
同 上 英 文	Purudensharu Life insurance Co.,Ltd	
所 在 地	〒450-6331 中村区名駅1-1-1 JPタワー31F	
TEL	052-856-7400	
FAX	052-856-7405	
自 宅	〒465-0012 名東区文教台1-602-2-601	
家 族	寺澤 晶子	妻
	龍真	長男
職 業 分 類	生命保険	
ス ポ ン サ ー	竹田竜一郎	
所 属 委 員 会		
最 終 学 歴	関西大学 社会学部	
趣 味	ゴルフ、野球	
結 婚 記 念 日	12月4日	



ニ ヨ ボ ッ ク ス

ご投函有り難うございます

田中正博 会長

ボーイスカウトあま第1団団委員長の佐藤益美様、近藤純子様、あまRC例会によろこそ。卓話よろしく！！
新会員寺澤正樹君、入会おめでとうございませ。皆さ

んで親切にしてあげましょう。あまRCに早く馴染んでください。

先週の土曜日、「大竹初代会長を偲ぶ会」ご出席の皆様、有り難うございました。きっと初代会長も喜んでおられると思います。

鈴木與左衛門 副会長

本日の卓話、楽しみにしています。

藤田隆志 幹事

ボーイスカウトあま第1団団委員長佐藤様、近藤様、本日はよろしく申し上げます。

藤田淳土君

お久しぶりです。

後藤雅光君

ボーイスカウトの佐藤益美さん、例会によろこそ。先代大竹会長の偲ぶ会に参加の皆様、ご苦労さんです。

栗木和夫君

快晴の下、町内の秋まつりにガンバリすぎて、初老と言うことを忘れ、体がガタガタ！自覚必要。

山田尊久君

ボーイスカウト佐藤益美団委員長、よろこそ！

後藤袈裟美君

大竹初代会長の偲ぶ会に参加の皆様、ご苦労様。

後藤裕一君

大竹初代会長の偲ぶ会での思い出話に感動しました。私の結婚式でも手品を披露して頂きました。私は観られませんでした。

家田安啓君

先週末、福岡の古賀ゴルフクラブでゴルフをしてきました。日本オープンの前で、大変でした。

今西邦弘君

10月になりました。昔は衣替えでしたが、まだまだ暑い日が続きそうですね。

北野庸夫君

明日、分区ゴルフです。雨のようです。頑張って参加しようかな！やめよかな！

児玉憲之君

新会員歓迎会に参加の皆様、お疲れ様でした。

黒川元則君

あま第1団佐藤益美さん、近藤純子さん、本日の卓話、よろしく申し上げます。青少年奉仕委員会IDM参加の

皆さん、有り難うございました。感謝。

黒野晃太郎君

ボーイスカウト佐藤さん、お話し楽しみにしています。光岡正彦君

新会員歓迎会、有り難うございました。

水野 眞君

今日の卓話でボーイスカウトのPRしてくださって有り難う。私は昭和10年にスカウトの誓いをたてました。昭和42年に名古屋40団を発団させました。スカウトは死んでもスカウトです。人生の指針です。

水谷安紀君

ラグビー日本代表、全勝で予選を通過して欲しいですね。

小倉廣三君

ラグビーワールドカップ、盛り上がってきました。13日スコットランド戦は必見です。御田中学出身の姫野和樹君に注目です。ガンバレ日本！

竹田竜一郎君

本日から新会員として入会されます寺澤君、よろこそあまRCへ。皆様よろしく申し上げます。卓話をしていただく佐藤さん、近藤さん、いつも有り難うございます。本日楽しみにしております。

谷口充子君

先日の卓話の際はご迷惑おかけしました。小倉君、有り難うございました。

板津和博君・山田幹夫君

「大竹初代会長を偲ぶ会」ご出席の皆様、お疲れ様でした。大変良い話が沢山聞けて、あまRCの素晴らしさを改めて感じました。

10月誕生日をお迎える皆様より

合 計 63,000円



「第24回世界スカウトジャンボリーに参加して」

日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張南地区

あま第1団 近藤 純子氏

私は日本ボーイスカウト愛知連盟尾張南地区あま第1団



近藤純子と申します。本日はお招きをいただき深く感謝申し上げます。私は学生時代から子ども会、学童クラブ、児童館などの子どもとかかわるボランティア活動をしていました。1994年の夏、当時の美和町でボーイスカウトのリーダーをしてみえる方と地域の勉強会にて知り合ったことからボーイスカウトの指導者の道を歩み始めました。妊娠・出産・子育ての間のお休みはありましたが、25年の歳月が流れました。

はじめに、ボーイスカウトについて少し紹介させていただきます。1907年、イギリスにあるブラウンシー島において、軍人であったロバート・ベーデンパウエル卿が、20名の少年を集めて8日間のキャンプを行ったことが始まりでした。ベーデン・パウエルは南アフリカにおける従軍経験から、この運動の着想を得ていました。青年の人格・市民性・肉体的発達を目的としたスカウト教育法を用いて、スカウティングは急速に世界最大の青少年団体へと成長していきました。1916年、日本でも後藤新平男爵を総長とする「少年団日本連盟」が発足し、1922年（大正11年）にボーイスカウト日本連盟が結成されました。ボーイスカウト運動は「青少年たちがよりよい社会人となり幸福な人生を送ること」を目的としています。子供の成長段階に応じたプログラムと、この運動ならではの「班制度」「進歩制度」「野外活動」を通じて自発活動を促し、心身ともに骨太な、そして他の人々への奉仕の精神、「生きる力」を持った社会人を育てます。現在、世界においては169の国と地域の約4000万人がスカウト活動に参加しています。日本には「団」と言われる活動母体が約2000あり、約10万人が活動しています。私たちの愛知県には178こ団の約9600名がスカウト活動に参加していて、これは東京に次いで2番目にスカウト人口が多いもので、活発な活動をして

います。ボーイスカウトは年齢に応じた5つの部門に分かれています。小1・小2のビーバースカウト、小3・小4・小5のカブスカウト、小6・中1・中2・中3のボーイスカウト、高校生年代のベンチャースカウト、18歳以上25歳以下のローバースカウトです。活動プログラムは研修を受けた指導者により、子どもの年代や興味、関心、保護者のニーズに沿い、かつ「教育のねらい」をもって作られています。今回、私が参加した世界スカウトジャンボリーは、小5から中3までのボーイスカウト、高校生年代のベンチャースカウト、この2部門のスカウトたちが参加できる行事です。

世界スカウトジャンボリーという言葉は、知名度が高いものではないと思います。私もボーイスカウト活動を始めてから「ジャンボリー」という言葉を知りました。世界スカウトジャンボリー、略して「セカジャン」。「セカジャン」は全世界のボーイスカウトの最大行事です。4年に1度開催され、現在までに24回開催されています。日本では第13回世界ジャンボリーが静岡県富士宮市朝霧高原で、今から4年前の2015年に第23回世界スカウトジャンボリーが山口県山口市きらら浜で開催され、世界152の国と地域から3万3838人が参加しました。「セカジャン」はとりわけ、平和と相互理解を促進し、リーダーシップとライフスキルを開発するために、世界の若者を集めた教育イベントです。1つの目的地で忘れられない12日間に参加することで、多様なグローバルカルチャーに身を包みます。「セカジャン」は、毎回大会テーマを持ちます。今回の大会テーマは『Unlock a New World ー新世界の扉を開こうー』です。新しい冒険、新しい文化、新しい友情のロックを解除することを意味します。この大会は北米でホストされているため、メキシコ、カナダ、アメリカの「新世界」の国でみられる文化によって定義されます。このジャンボリーは、スカウティングの働きに関する異なる見解を提供します。保護とアウトドアマンシップの伝統を堅持して、新世界のジャンボリーは私たちの運動が培ってきたリーダーシップ開発とグローバル市民権の成長傾向を受け入れるジャンボリーです。今回の「セカジャン」への参加は日本からは28こ隊1120人が派遣されました。36名のスカウトと4名の指導者が標準1こ隊となります。日本国内において東京、愛知、大阪、福岡の4か所に分かれて、7月19日から2泊3日の事前訓練が行われました。私たち愛知・岐阜・三重の3県からの3こ隊120人は、春日井少年自然の家に集結をしました。事前訓練最終日21日には、その足でセントレアへ移動して、アメリカデトロイト空港へ向かいました。多くの

スカウトが初めての海外旅行ですので、チェックインや出入国審査など、さぞドキドキであったことかと思えます。今回の「セカジャン」は、7月22日から8月2日の12日間、アメリカ合衆国ウエストバージニア州にあるアメリカ連盟が保有するサミットベクテル保護区にて開催されました。会場のサミットベクテル保護区は、山手線内側に匹敵する広大な面積のアドベンチャーベースで、東西に8.5km、南北に7.5kmのエリアは6つのベースキャンプに分かれていて、会場には山あり、川あり、湖ありと自然豊かな環境です。大会期間中にはシカとクマの目撃情報がありました。会場入りした1日目は雨でした。私たちのサイトのお隣はイタリア隊でした。我々の到着より早くにキャンピングをしていたので、お昼時ということもありくつろいでいたのですが、多くのイタリアスカウトが自主的に私たちの設営を手伝ってくれました。大会に到着後に、ネッカチーフとIDカード、ノーバスが支給されました。ノーバスはボタンを押すと光を発します。友達同士がノーバスを近づけてボタンを押すと、登録されている相手の情報を記憶しあいます。毎日、様々なプログラムに参加するのですが、チェックイン情報がノーバスに記憶されます。これらの情報は、スマホに入れたアプリで随時確認をすることができます。大会の真ん中あたりで、日本のスカウトが自分のリュックと外国スカウトのリュックを交換した際に、自分のリュックに詰めていた荷物を全部取り出したつもりが、奥深くにしまっていたパスポートを取り出し忘れて、そのまま相手と分かれ、後になってから気がつくという大事件が起きました。どこの誰だかわからないでいたのですが、このノーバスの記録により相手を特定することができ、無事にパスポートが戻ってきたという想定外の使われ方もありました。毎日、スカウトたちは様々なプログラムに出かけていきます。この会場の一番人気のジップラインは何本もコースが作られていて、一番長いものは3分の2マイル、1km強あります。ポルタリング・アーチェリー・射撃・スケボー・BMX・スキューバダイビング・カヤック・フィッシングなどのアウトドア的なプログラムとともに、地球温暖化、生態系、などの地球規模の問題を考えるプログラムやロボットや3Dペイントなど最先端の技術を体験できるプログラムなどもあります。また、参加国が自国のブースを持ち、それぞれに趣向を凝らした出展をして、さながら小さな万博会場のようでもありました。日本はけん玉やコマなどの昔遊びや折り紙などを紹介するブースを営みました。全員が一堂に介するのは、「初日の開会式」と「最終日の閉会式」「大会5日目の夜のコミュニティショー」の3回ありました。4万人が集結する行事です。大迫力でエキサイティングな

夜を奥ゆかしい日本のスカウトたちがどのように感じたのかと思うと私は嬉しくてなりません。「え、こんなに盛り上がるんだ」「英語はよくわからないけどなんか楽しいじゃん」「世界中のスカウトが一つになっているよ」経験値が一つも二つも三つもグンと上がった瞬間であったと思います。大会5日目の7月26日は「カルチュラルセレブレーションデー」と名付けられた「セカジャン」ならではのプログラムでした。各サイトでは、それぞれの国や地域の伝統的な遊びやパフォーマンス、食事などを紹介するとともに、互いにフリーに訪問交流しあいます。私たちの隊では、「お抹茶」「オニギリ」「お味噌汁」「折り紙」「習字」「風船釣り」「盆踊り」といったアイテムを準備しました。大会期間中はアメリカ隊との夕食会やイタリア隊とのランチ会も行い、たどたどしい英語とジェスチャーによるコミュニケーションをとり、国際理解と国際交流が図られます。私たちの食事の基本は自炊です。朝5時半と午後3時に配給所にお当番さんが配給を取りに行きます。今どきのシステムなのですが、配給はスマホに入れたアプリによるシステムを活用しました。1日当たり3333ポイントが与えられ、自由にポイント内での配給を受けます。大きなテントの中にやや雑多に積まれた食材が点在していて、QRコードを読み込みながらカートに入れて決済をするという仕組みです。小食の日本隊にとっては十分なポイントで毎日使い来ることが出来ませんでした。反対に大食の外国隊にとっては十分ではなかったようで、お隣のイタリア隊から「ポイントをおごって」とおねだりを受けたこともありました。食事は朝食と夕食に簡単な調理をします。食べ終わった後は洗いをしますが、サイトには流しや水道が出る蛇口がありません。水場にポリタンクをもって汲みに行って大切に使用します。洗いはまず基本としてトイレトペーパーなどで汚れをふき取り、最小限の水使用に抑えます。一日の行動として昼食をもってプログラムへ出かけられるように、昼食は調理を必要としない携行食となります。スニッカーズのような甘さが強いバー・クラッカー・クッキー・ポテトチップス・ナッツ・グミ・ビーフジャーキー・リンゴなどといったラインナップです。山下清の気分です「お、お、オニギリが食べたいんだなあ」。普段は洋服を脱ぐだけで翌日にはクローゼットにきれいになって戻っている子がほとんどなのでしょうけれど、ここでは違います。バケツに水を張って手洗い、手しぼり、干す、取り込む、たたむ、しまう、すべてを自分で行います。でも仲間と並んでオシャベリしながらの彼らの表情はとても楽しそうなのです。毎日の紹介として、お年頃の女子スカウトの脱毛や男子スカウトの髭剃りは大切な日課です。体調を崩したらDr.のい

る救護所への訪問をします。これについては、日本からの奉仕者の一人に一宮市民病院のDr.がいらっしゃる、私たちの隊のスカウトはこのDr.に3名がお世話になりました。日本語での診察はどんなにありがたいことであったことか。私たちの隊は活動の様子をFacebookにあげていました。毎日スカウト自身が撮影した写真を使って4名の担当者が協力して毎晩の更新をしていました。182人の方にフォローしていただいている、大会期間中は保護者の方から応援メッセージをいただいたりもしました。

36名のスカウトたちは4つの班に分かれていて、それぞれに「班長」「班長をサポートする次長」が選出されています。中学生を少し含む高校生たちのメンバーでの集団生活です。彼ら自身で自治を育むため、毎晩遅い時間まで班長次長は会議をします。「セカジャン」開催にあたっては「アメリカ軍」の支援を受けています。アーミー柄の制服姿の軍人さんと遭遇することもよくあります。会場のいたるところにお店屋さんが開かれます。これは自分の持っている「グッズ」を気に入ってくれた人とその人が持っている「グッズ」とを交換することを目的とします。これには小さなルールがあって子どもは子ども同士、成人指導者は成人指導者同士が交換の対象者です。日本のグッズは人気が高く、一番人気はポケモンチーフリングです。

普段の会場の様子です。集い、歌い、ふれあい、魅せる。母国語が英語の国ばかりではないですが、多くのスカウトたちは英語がしっかりできていました。私たちのスカウトの中にはそのことに驚きを感じていても、自分に必要なもののリストに加えていた様子でした。

12日間の大会を終えた8月2日、私たちは最寄りのシャーロット空港から飛行機でデトロイトへ向かいました。ここで私を含めた4名の預け荷物がシャーロット空港に置き去りになる事件がおきました。3名分は夜のうちに宿泊するホテルへ荷物が届けられましたが、1名はその2日後の帰国当日の朝、ホテルへ荷物が届きました。デトロイトは自動車産業が盛んな都市で、8月3日は1日デトロイト観光ということで、「ゼネラルモーターズの展示館」「フォード博物館」「デトロイト駅」「デトロイトタイガース球場」「カナダに隣接する公園」などをバス観光しました。8月4日にデトロイト空港からセントレアへ帰ってきましたが、ここでも1名の荷物がデトロイト空港に取り残され、2日遅れで日本へ到着したアクシデントもありました。それでも私たちの目標であった「40名全員が笑顔で出かけ笑顔で帰る」を達成することができました。到着ロビーへ出た瞬間のスカウトたちの安堵の顔、時には小憎らしいことを言うお年頃だけど、やっぱり可愛らしい子どもでした。

私が引率した36名のスカウトの中に、高校3年生の私の長男がいました。私たち親子の暗黙のルールとして、「活動中は親子の縁を切る」というものがあります。特にこうした大きな大会の時には強く守られるものになります。私たちは18日ぶりに帰宅したのですが、息子はその5日後に再び7日間のボーイスカウトの大会へ出かけました。これは「富士特別野営」といって、富士スカウト章の称号を得たスカウトに向けた高度な野営キャンプの大会です。富士スカウト章というのは高校生年代のベンチャースカウトにおけるの最高位のスカウトに与えられる章となっています。年に一度、代表スカウトによる東宮御所及び首相官邸の表敬訪問が行われます。おそらく次の3月にはわが息子も何かしらの代表スカウトに選んでいただけるものと思います。選りすぐられた富士スカウトたちは全国各地から栃木県的那須へ集合して、8名の班員が協力し合って徒歩と電車とラフティングを移動手段としながら100kmほど離れた茨城県高萩市まで移動しながら野営キャンプを行います。高度な野営技術が求められるこの大会に参加した息子の帰宅後の感想は「楽しくなかった。えら過ぎ」でした。この夏、大きな大会二つに参加した息子の中には、私が期待した以上の何かが芽生えたようです。実はこの大会を最後としてスカウト活動をやめる決意をしていたのですが、「自分が得た経験を次の世代のスカウトへつないでいく使命がある。」という思いが湧き、スカウト活動を続ける決意に変わりました。アメリカと日本の二か国で、自然あふれる野外の中で体験してきたことは、家庭や学校で教わって体験することとは違う魅力があることに気が付いてくれたのです。4月から大学生になる息子は、自身がよりよき社会人に近づく努力を続けながら、後輩たちの社会的成長に寄与できる指導者を目指します。

ボーイスカウト活動の財政基盤は、加盟員が負担する登録料とともに、多くの支援者様からの維持会費をはじめとする各種寄付、助成金からなっています。また、最近はじめたのが、コカ・コーラ社さんのご協力により「ボーイスカウト自動販売機」が生まれ、収益の2%をボーイスカウトへ寄付していただくシステムがあります。ロータリアンの皆様にこれらの案内をさせていただき準備をしてまいりました。財政面でのご支援に興味関心を持っていただければ幸いです。

本日は貴重な体験をさせていただき機会を与えていただき、たいへんありがとうございました。温かな御清聴に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。